

1 単元 表現運動（表現）

2 目標

めあてをもち、友達と協力し合い、だれとでも気持ちを合わせて踊ろうとする。

（興味・関心・態度）

題材から表したいイメージを広げ、その感じにふさわしい表現の仕方を工夫することができる。

（思考・判断）

題材の表したい感じを強調するように、動きに変化や起伏をつけて表現することができる。

（技能）

3 単元設定の理由

本単元の表現運動は、自己の心身を解き放し、リズムやイメージの世界に没入して、なりきって踊ることが楽しい運動であり、互いの違いやよさを生かし合って、仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。さらに ア表現では、身近な生活などから題材を選んで表したいイメージや思いを表現することを楽しみながら、自由に動きを工夫して楽しむ創造的な学習であるととらえられている。

5年生の児童の一般的な特徴として、中学年のころに比べ、体格の変化が顕著である。それに伴って、心が大きく変化し、ものの感じ方や好みが多様化したり、男女差や個人差が見られたりすることが顕著になってくる。また、自分の思いや考えを伝えられる時期にもなっており、今回の学習指導要領の体系的なとらえ方では、多くの運動経験をさせる時期に当てはまる。

そこで、児童が表したいイメージや思いをもち、自由に表現するための表現の仕方を身に付け、その動きをもとに、工夫しながら表現を創り上げていく学習過程を工夫することで、論理的思考力をはぐくめるとともに「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成」が図られると考え、本主題を設定した。

4 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能
学具 習体 活の 動評 に価 お規 け準 る	めあてをもち、 <u>進んで表現運動に取り組もうとする。</u> 友達と気持ちを合わせて <u>意欲的に踊ろうとする</u> 友達の動きや活動のよいところを見付け、 <u>進んで認め合っている。</u>	表したい感じを表現するための <u>変化と起伏のつけ方や、ひと流れの動きを工夫して考えている。</u> 友達と一緒に動きを <u>教え合い、アドバイスし合い、よりよい動きを考えている。</u>	題材の表したい感じを強調するように、 <u>動きに変化と起伏をつけ、体全体で動くことができる。</u> 友達と一緒に、 <u>群を生かした動きを工夫して表現することができる。</u>

は十分満足できる状況

5 指導と評価計画（7時間扱い）（男子19名、女子13名、計32名）

	学習のねらい・活動	評価計画		
		関	思	技
はじめ	オリエンテーション 運動の特性や学習のねらい、計画、内容を理解する。 1 運動の特性やねらいを知る。			

<p>× 1</p>	<p>2 学習の仕方について確認する。 ・学習カードの使い方 ・イメージバスケットの書き方 3 学習の約束事を確認する。 4 体ほぐしをする。 5 みんなで踊る。 6 学習のまとめをする。</p>	<p>}</p>	<p>}</p>	<p>}</p>
<p>なか 1 × 4</p>	<p>ねらい 多様な題材から、関心のある出来事を取り上げ、表したいイメージを強調しながら踊る。</p> <p>1 ウォーミングアップリズムダンスをする。 2 本時の学習を確認する。 3 共通に身に付けさせたい動きを体験させる。</p> <p>【やってみよう（習得）】 日常生活や社会の中から特徴的な動きを取り上げ、表したいイメージを踊る。</p> <p>題 材 (1)スポーツ感動場面 (2)働きマン (3)はりきりママ (4)学校生活ダイアリー</p> <p>4 動きのポイントの確認をする。 5 共通に身に付けさせたい動きを再構成する。</p> <p>【広げよう（活用）】 グループになり、好きな題材を選んで、表したい感じが生きるようにメリハリのあるひと流れの動きを工夫して表現する。</p> <p>6 見せ合いをし、交流をする。 7 学習のまとめをする。</p>	<p>}</p>	<p>}</p>	<p>}</p>
<p>なか 2 × 2</p>	<p>ねらい 表したい題材を選んで「はじめ - なか - おわり」をつけた簡単なひとまとまりの動きにして踊る。</p> <p>1 ウォーミングアップリズムダンスをする。 2 表したい題材ごとにグループになり、グループごとのめあてを確認する。 3 表したい題材ごとになったグループで動きづくりをする。 ・感を強める工夫をしたり、「はじめ - なか - おわり」を意識しながら踊る。 4 見せ合いをし、互いにアドバイスをする。 5 グループに戻り、感じを確かめながら、組み立てて直す。 6 前時の踊った感じや見せ合いを通して、アドバイスし合った動きや場面をグループで確認する。 ・イメージを大切にしながら、仕上げていく。</p>	<p>}</p>	<p>}</p>	<p>}</p>
<p>ま と め 1</p>	<p>発表会 ・各グループの踊りを順番に鑑賞する。 ・感想を述べ合う。 ・学習のまとめをする。</p>	<p>}</p>	<p>}</p>	<p>}</p>

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

題材から表したいイメージを広げ、感じにふさわしい動きを工夫している。

(思考・判断)

題材の表したい感じを強調するように、動きに変化をつけて踊ることができる。

(技能)

(2) 展開(4/7)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
はじめ 8分	1 ウォームアップリズムダンスを行う。 ・リズムにのりながら先生の動きの発信で踊る。リーダーを交代しながら踊る。 ・友達ともかかわって踊る。	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態, 表情を観察する。 始めは, 教師がリーダーとなり, 動きの発信をする。 リズムにのって, 全身で弾んで踊るようにする。 友達とかかわって踊らせる。始めは, 教師が動きをリードするが, 徐々に自由なダンスに変えていく。 動きの中に「四つのくずし」を意識させる。 	
なか 37分	2 本時の学習を知る。		
	ねらい 日常生活や社会の中から特徴的な動きを取り上げ, 表したいイメージを踊る。		
	3 イメージをもとに, いろいろな家事をするお母さんのイメージを膨らませる。	<ul style="list-style-type: none"> イメージバスケットから, お母さんがこなす家事のさまざまな場面を想像させる。イメージバスケットや友達の発表を参考にしよよいことに触れる。 現代の家事より, ひと昔前の家事を想像させる。 	
	やってみよう(習得) 家事の特徴的な動きを取り上げ, 表したいイメージを強調して表現する。		
	4 教師と一緒に踊る。 動きの例 ・掃除 ぞつきの汚れを落とす-ぎゅっとしぼる-全身を使って窓を拭く-いろいろな方向へほうきで掃く(スローモーションを効果的に入れる) ・買い物 かごを持っておすまし歩き-バーゲン会場で奪い合い-バイクに乗って帰る(動きにメリハリをつける) ・フライパンでクッキングフライパン返しているいろいろな方向やポーズのの速さや方向を変える。	<ul style="list-style-type: none"> 始めは教師の言葉かけをヒントにしイメージを膨らませながら一緒に踊る。 動きと仕事の対象となっている物に視点を置いて踊ってみると動きに広がりが出ることを伝える。 「四つのくずし」を意識するように話す。 全身を使って動いている児童を賞賛し, 動きを紹介したり, まねさせたりし, よい動きを広める。 想像を膨らませ, 全身を使って大げさに表現させる。 教師の言葉かけとともに動く中で, ひと流れの動きを経験させる。 手の先や足の動きを意識させ, ダイナミックな動きを体験させる。 素早く, スローモーション, ストップ, コマ送りなど時間軸に変化をつけて踊らせる。動きながら言葉かけをし, 動きに刺激を与える。 	
	5 動きのポイントを振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> どんな動きがあったか, 振り返らせる。 押さえない動きを踊ってみる。 動きや工夫のポイントを押さえる。 	

	<p>広げよう(活用) 2人組やグループになり、「やってみよう」で共通に体験した動きを使って、さらに動きを繰り返したり、組み合わせたりしてイメージにあった動きを表現する</p> <p>6 グループになり、表したいイメージを強調して表現する。 ・3～4人組になり、表現する順番を決める。 ・一人一人表現したいイメージを膨らませ順番に踊っていく。他のメンバーは、リーダーになった友だちの動きをまねたりかけ合ったり、工夫してかかわりながら踊る。</p> <p>7 交流会をする。 ・二つのグループになり、A Bの順に見合う。(よい動きのグループを取り上げて見せることもある。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな家事の場面を取り上げていくよう、指示する。 ・一番強調させたい場面にこだわって動きを工夫することを約束させる。 ・いくつかの動きがでてきたら、つなぎ方も考えていくことでひと流れの動きになることを知らせる。 ・それぞれの動きを実況していくことで、動き方やイメージに刺激を与え、動きを活性化していく。 ・友達ならではの対立の動き、人間関係のくずしも取り入れるように助言する。 ・空想を膨らませ、全身を使って大げさに表現させる。 ・動きに「四つのくずし」を意識させる。 ・見るときの視点をきちんと伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・よい動きを見付け合い、互いにコメントし合う。また、よい動きをまねさせる。 ・どんな動きがよいか、確認させる。 	<p>思考・判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材から表したいイメージを広げ、感じにふさわしい動きを工夫している。 <p>(学習時の観察・学習カードの記述)</p> <p>技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材の表したい感じを強調するように、動きに変化をつけて踊ることができる <p>(学習時の観察)</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>8 学習のまとめをする</p> <p>9 学習カードの記入をする。</p> <p>10 あいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り替えらせ、意欲的に動いていた児童を賞賛する。 ・今日のがんばりを認め、次時への意欲化を図る。 	

は努力を要する状況にある児童への手立て